



産業財産権制度140周年記念 内閣総理大臣感謝状

産業財産権制度普及発展特別功労企業等

旭化成株式会社

代表取締役社長 兼 社長執行役員 工藤 幸四郎

企業概要

<https://www.asahi-kasei.com/jp/>

所在地：東京都千代田区有楽町一丁目1番2号 日比谷三井タワー

設立：1931年

資本金：103,389百万円

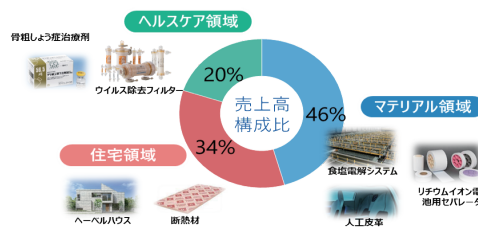
従業員：49,295人

事業概要：マテリアル(化学品、高機能素材、消費財、繊維、電子部品・電子材料など)、
住宅(住宅、建材)、ヘルスケア(医薬、医療、クリティカルケア)等

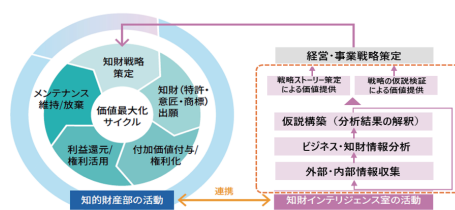


受賞のポイント

- ①IPランドスケープ (IPL)の草分けの企業。中期経営計画の重要テーマの一つとして「無形資産の最大活用」を掲げ、事業ポートフォリオの変革に向けて、自前主義や設備の保有といった旧来の設備産業の考えから脱却してアセットライトを進め、他者の資産も活用し、経営スピードを高めて高付加価値を提供できる領域に投資する方針。その実現手段としてIPL等を通した知財・無形資産の活用を重視。
- ②知財・無形資産を最大活用した戦略構築や新事業創出を目指し、令和4年に「知財インテリジェンス室」を経営企画担当役員直下に設置し、経営の戦略組織として位置付けている。知的財産部と両輪で企業価値の最大化に取り組む。先に合併会社を設立した不織布事業においては、IPL等により、提携先候補企業との間に技術的なシナジーが存在することを客観的に示すと共に、統合した場合の競合に対する勝ち筋を見出すなどして、経営層の戦略的な意思決定に貢献。
- ③同社社長は、社内の知財経営を推進するのみならず、社外への普及にも尽力し、業界に発信。また、同社は令和2年にIPL推進協議会の設立を主導し、現在100社を超える会員・幹事企業とIPLの普及・発展に取り組む。



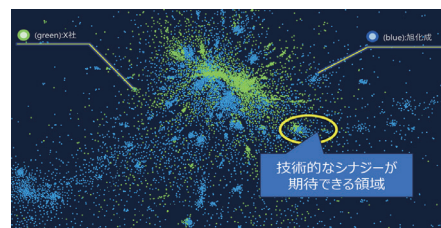
当社3領域(マテリアル、住宅、ヘルスケア)事業



当社知的財産活動体制



知財・無形資産活用に向けてのIPLの経営貢献



不織布合併設立に向けての提携候補先/
当社の技術シナジー俯瞰マップ